



横浜訓盲学院 だより

第38号 (2016年11月号)

2016年10月28日発行

〒231-0847 横浜市中区竹之丸181番地 URL : <http://kunmou.jp/>

代表 TEL:045-641-2626 FAX:045-641-2627 E-mail : jimu@kunmou.jp

普通部 (直通) TEL/FAX:045-662-1710

理療科 (直通) TEL/FAX:045-662-1833



学院長 中澤 恵江

年月を越えてつながりをもてる学校

先日、ある施設の支援員の方が学院を訪ねてきてくださいました。その施設は、本学院の卒業生がお一人利用されています。学院を卒業されたのは28年前、ずいぶん長い年月ですが、卒業されたその方をよく覚えている教員が学院には複数残っております。私もその中の一人でした。支援員の方が今回学院にお訪ねくださった理由は、その方の日中活動をより豊かにするアイデアを求められてでした。学院の専攻科生活科の活動をご覧いただき、また、私も参加して可能なアイデアを出し合い、話し合う時間をもつことができました。この情報交換は、現在の生活科の教育にも大きな示唆を与えてくれる有意義な時間となりました。

少し前には、27年前の卒業生のご家族から、横須賀で行われるライブコンサートのご案内を受けました。このライブコンサートはじっくり音楽に聞き入る部分もありますが、最大の特徴は、障害のある方たちがライブバンドのすぐ近くで、踊って弾けて参加できることでした。今は県外におられる卒業された方は、このライブコンサートの活動に数年にわたって参加されており、その楽しさを紹介したいというご家族から学院にご案内が届いた次第でした。参加してみて、そのユニークなライブから障害のある人たちが楽しく参加できる空間の構成、プログラムの組み方など、新たな視点を学ぶと同時に、学院の卒業生が豊かな余暇活動を楽しんでいることに大きな喜びを感じました。

改めて、卒業してから数十年後にも卒業生がつながることができるこの学院の在り方を、大切にしたいと実感した出来事でした。



「あなたがたは地の塩である。」

マタイによる福音書5章13節

《11月の聖句》塩は味付けたり腐敗を防止します。その様な働きをする人を神は求めます。



小中グループ 夕涼み会

7月29日(金)、小中グループの夕涼み会が行われました。今年の夕涼みのメインはもちろん、夏の夕暮れにふさわしい盆踊りと花火!! と言いたいところですが…やっぱりみんなは、花より団子? プールを満喫した後は、小中特製キーマカレー!! 少し辛口の大人の味でしたが、みんなモリモリ! やっぱり夏はピリッと刺激的なカレーにかぎります♪

ポテトサラダにホットケーキ、甘いフルーツ…おなかを満たした後はみんなで盆踊りをしました。太鼓の音が響いてくると、みんな笑顔でおもしろおもしろに体を動かしたり、太鼓をかこんで踊ったりしました。最後に花火「なんだか煙たい…」と顔をしかめる子どもや、パチパチ、シュー!という音を楽しむ子ども、カラフルな花火の色に興味津々の子ども…しばし夏の風物詩を楽しみました。

夕涼みが終われば、長い長い夏休み…子どもたちは「やったー!のんびりするぞ!」「しばらくお休みなんて、つまらない!!」…どんなことを思いながら帰っていったのでしょうか…。家族や先生、みんな一緒に楽しく夏の夕暮れを過ごした夕涼み会でした。



生活科 社会体験学習

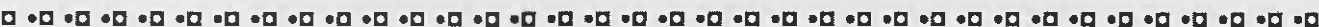
今年度の生活科夏期社会体験学習は「電車の旅～東京」と「東京おもちゃ美術館」の二つの班に分かれて実施しました。「電車の旅～東京」に参加した生徒は東京駅までの長い乗車時間を楽しみました。目的地は東京駅とKITTE(旧東京中央郵便局)です。KITTEのレストランでは比内地鶏の親子丼やおいしい唐揚げに舌鼓、その後は雑貨屋、お菓子屋などで買い物を楽しみました。



「東京おもちゃ美術館」に参加した生徒は、館内に展示されている木製のおもちゃを実際に手で触れ、遊ぶことができました。「おもちゃのもり」と名付けられた大きな部屋ではヒノキで作られた2階建てのセンターハウスや「ドングリ池」、「木の砂場」と名付けられた木の球体が敷き詰められたボールプールがあり、生徒はそのボールプールに寝転ん



だり、手探りでセンターハウスを探索したりと全身で木の感触を感じながら楽しく過ごすことができました。どちらの体験学習も生徒が楽しみながら経験を積むことができましたと思います。



幼小グループ 秋の遠足

9月16日(金)に幼小グループでは、神奈川県立地球市民かながわプラザあーすぶらざへ秋の遠足に行ってきました。「こどもの国際理解展示室」と「こどもファンタジー展示室」で遊んで来ました。「こどもの国際理解展示室」では、世界中の国々から集められた楽器に触れることができました。世界各国の楽器を鳴らして、それぞれの音の違いを楽しみ、世界の文化を肌で感じることができました。



また、カラフルでとても素敵な各地の民族衣装を着て記念撮影を撮り、たくさんの展示物を探索して触れることができました。「こどもファンタジー展示室」では、みんなで大きなトランポリンに乗ってピョンピョン跳ねたり、それぞれの楽しみ方を発見し、楽しむことができました。

その後広い部屋に移動し、みんなでお弁当やお菓子を食べました。食事の後は再び「こどもファンタジー展示室」に行き、トランポリンでたくさん遊んだり、食後の時間をゆったりのんびり過ごしたお友だちもいました。たくさんの楽しい体験ができた秋の遠足でした。



横浜訓盲学院の礼拝と聖書

目白教会牧師(訓盲学院理事) 古旗 誠

横浜訓盲学院は、1889年(明治22年)アメリカ人宣教師ピンクニードレーパー女史によって創設された盲学校です。この学院は、主イエスが「あなたがたは、世の光である」(マタイによる福音書5章22節)と告げられた御言葉に導かれて、盲人に光を届けるに留まらず、盲人自身が世の光であることによって世を照らし、この世のともし火となって生きることの大事さを信じて宣教師が建てた学校です。



多くの盲学校は、経営難のためキリスト教の看板を降ろしましたが、横浜訓盲学院はイエス・キリストを信頼して、キリスト教による学校として現存し続けています。

学院が欠かすことなく大切にしているのは、「礼拝」をすることです。毎週、木曜日の午後1時から普通部の子も達と療科の生徒達、教職員みんなが集まって礼拝をします。子ども達は、礼拝が大好きです。子ども達は元気いっぱい賛美をします。体を動かして楽しそうに大きな声とリズムでもって賛美をします。そして、その日の聖書が読まれ小生が説教をします。年に二回は、他の牧師に来ていただいて礼拝の説教と聖書の授業で話をさせていただいています。

今年度は、5月に銀座教会の長山信夫牧師に来ていただいて担当をしていただきました。長山牧師は、メソジスト教会の伝統を受け継ぐ横浜訓盲学院を理解してくださり、学院の皆さんは大喜びでお話を聞きました。また、9月には、これから牧師になる日本聖書神学校の神学生3人(中條康仁兄、今野瑛兄、大島庄吾兄)に、礼拝の説教と授業でのお話をさせていただきました。将来、遣わされる教会の現場には、様々なハンデをもって生きている人たちがいます。学院での礼拝や授業は、牧会者として聖書の福音を伝えることばを得るために大切な経験となるでしょう。

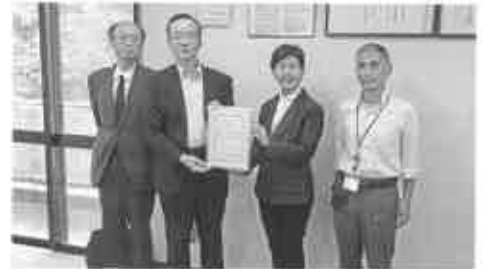
この学院の生徒さんたちは、教師たちの献身的な働きによってそれぞれが豊かな成長をしています。どうぞ、横浜訓盲学院を祈りに覚えてください。そして、キリストの教えに基づいて立ち続けているこの学院をお支えください。

助成金贈呈式

9月12日(月)、「神奈川県青年商工会」様主催による社会福祉のためのチャリティーゴルフ大会の席上にて、寄附金の贈呈式が行われ、中澤恵江学院長が同会の徐英雄会長より寄附金をいただきました。また当日は、当学院療科の卒業生5名が会場にて、大会へ参加された皆様へマッサージの施術を行い、療科生としての腕前を同会の会員の方々に披露しました。

9月14日(水)、「みずほ教育福祉財団」様より助成金の贈呈式が横浜訓盲学院会議室にて行われ、同財団の上田靖常務理事と真鍋公典教育事業部長が来校され、目録をいただきました。今年度の助成金で、「エアコン」と「スポットライト」を購入することができますことに感謝いたします。

あたたかいご支援・ご配慮を頂きまして、誠にありがとうございます。



視覚障害



光のある世界と、ない世界

星新一という作家をご存じだろうか。ショートショート(SF小説)で私が若かりし頃、人気があり(彼の名前を冠した小説賞がある)、その中に1、2編、視覚障害児を主人公にした小説がある。昔読んだので記憶がおぼろげだが、確か先天盲(先天的、または、乳幼児期に視力を失い、視覚経験の記憶がない状態)のこどもが真っ暗な中でうまく生活し、楽しんでいるような話であった。まるで視覚障害を感じさせないような生活をしている姿に驚きを感じたことを覚えている。

晴眼者にとって見ているこの世界は当たり前の世界だろうが、視覚障害者にとっては、不自由に違いない。しかし、もしここが光のない世界なら視覚障害者の生活が当たり前で、晴眼者は不自由をするに違いない。

この小説は、そんな逆転の発想を私たちに示していた。私たちは、横暴にも自分の世界観で全てを押し量ろうとするが、逆転の発想はとても大切かもしれない。(村瀬 道雄)

思うツボ

エビデンス

皆さんはエビデンスの意味はご存じでしょうか。エビデンスというのは科学的根拠のことです。医療の分野でも「エビデンス・ベースド・メディスン(以下EBM)」といて、「科学的根拠に基づいた医療」の重要性が盛んに言われています。

EBMという発想を作ったのはイギリス人の疫学者、アーサー・コクランという人です。コクラン氏は、第二次世界大戦時に捕虜として軍医を勤めた経験があります。ここで氏は、低栄養状態と乏しい医療設備のもとでも、兵士の死亡者が少なかったことに驚きました。

「医療は重要だけれども、人間の持つ回復力に比べて大したことはないかもしれない。そう思うと、医療介入というのは本当に科学的根拠があって、必要なときにだけするようにしないと、人間の回復力を妨げてしまう」と考えました。このようにしてコクラン氏は、医療を行う際には「科学的根拠、つまり実績や効果、必要性が重要である」という考えに至り、不要な医療を減らそうとしたのです。

1人の患者と向き合う時間をより多く作るためにEBMを活用することが本来の目的であったように感じます。しかし現在行われている医療では、どうもマニュアル化というイメージが強いようです。問診では患者の訴えを枠にあてはめて治療方針を決めるのではなく、「面と向き合い、訴えに対し耳をしっかりと傾けること」が、コクラン氏の意味なのではないかと思えます。同時にこれは我々鍼灸アマ指師が得意とする分野ですので、大切にすべきことです。

(参考文献:内田樹・三砂ちづる(2006)『身体知—身体が教えてくれること』木犀叢書)

◎2016年度後期の主な行事予定◎

- 11月 3日(木) 普通部保護者参観日・オープンキャンパス
4日(金) 理療科解剖見学
19日(土) PTAバザー
- 12月 3日(土) 普通部 第1次入学検定
10日(土) 神奈川県盲学校サウンド・テーブルテニス大会
23日(金) クリスマス礼拝・祝会
27日(火)~1月6日(金) 冬休み
- 1月 14日(土) 理療科 第1次入学検定
28日(土) 学校開放「お餅つき」
- 2月 25日(土) あん摩マッサージ指圧師国家試験
26日(日) はり・きゅう師国家試験
- 3月 3日(金) 普通部保護者参観日
17日(金) 2016(平成28)年度卒業式・修了式

PTAバザーのご案内

今年も恒例となりましたPTAバザーを開催致します。
カレーライス・お好み焼き・フランクフルト等の模擬店や生花の鉢植え、普通部生徒による手作りお菓子や雑貨などの販売のほか、理療科では生徒によるクイックマッサージが催されます。
この機会に是非お立ち寄りください。
☑日 時:11月19日(土) 12:00~15:00(雨天決行)
☑場 所:横浜訓盲学院 前庭・講堂など

学校開放

例年ご好評を頂いております学校開放ですが、今年度の実施は全2回です。第1回は10月1日(土)に移動動物園を開催し、たくさんの方々にお越しいただきました。今回も川崎市にある福田牧場の方々にご協力をいただき、たくさんの動物に触れ、エサをあげる体験をすることができました。一番人気のポニー乗馬をはじめ、可愛いヒヨコやウサギと触れあったり、羊やカメにエサをあげたり、小さなお子さんをはじめ、多くの方々楽しんでいただけたと思います。



第2回は2017年(平成29年)1月28日(土)に餅つき大会を行う予定です。また近くなりましたら当学院のホームページや掲示板に案内を掲載いたします。ご参照の上、是非ご来場ください。



臨床実習のご案内

★あんま・マッサージ・指圧・はり灸★
【水・木・金曜日】

当学院の理療科では、教育課程にて一般の方を対象に、あんま・マッサージ・指圧・はり灸の実習を行っています。施術については、生徒が教員の指導の下、行ってまいりますので安心して受けて頂けます。利用者様からは「気持ちよかった〜」、「痛みが取れました〜」等、喜びのお声を頂くこともあります。こうした生の声が生徒にとって、よりいっそう立派な治療家を目指す励みになっております。みなさんは是非とも一度、理療科臨床実習室へお越し下さい。明るく笑顔でお待ちしております。



料金 一律 1,000円

時間 前半 9:50~
(各50分ずつ) 後半 10:50~

◆ご予約はお電話で!
当日の朝 8:45~9:10
電話 090-9009-5882

◆お問い合わせは理療科まで
電話 045-662-1833

◎2017(平成29)年度生徒募集◎

【普通部】 幼児・児童・生徒募集

- 募集定員
幼稚部(3歳児・4歳児・5歳児)計6名
小学部1年生4名
中学部1年生4名
高等部普通科1年生4名
高等部専攻科生活科1年生4名
- 募集期間
《一次》2016(平成28)年10月28日(金)~2016(平成28)年11月18日(金)
《二次》2017(平成29)年 1月10日(火)~2017(平成29)年 2月24日(金)
- 入学検定日
《第1回検定日》2016(平成28)年12月3日(土) 午前9時~
《第2回検定日》随時。

【高等部理療科】 生徒募集

- 募集定員
高等部専攻科保健理療科(3年課程)1年生4名
高等部専攻科理療科(3年課程)1年生8名
- 募集期間
《一次》2016(平成28)年10月28日(金)~2017(平成29)年1月 6日(金)
《二次》2017(平成29)年 1月16日(月)~2017(平成29)年3月10日(金)
- 入学検定日
《一次》2017(平成29)年 1月14日(土) 午前9時~
《二次》随時。出願書類提出後、調整のうえ試験日を定め実施。

【お問い合わせ】
代表 TEL.045-641-2626

●ご協力のお願い●
(平成28年度 賛助会員)

私どもの視覚障害教育にご理解いただき、ご支援下さる団体・個人の方々の賛助会員を募らせていただいております。よろしくお願ひ申し上げます。

- 【年会費】 団体会員(1口)10,000円/個人会員(1口)1,000円(口数は問いません)
- 【お支払い方法】 ・郵便振替[加入者名]学校法人横浜訓盲学院(口座番号00200-5-40861)
・現金
- 【その他】 会費以外に寄附金も有難くお受けいたします。
- 【免税措置】 ・会費は寄付金として扱われ、横浜訓盲学院より領収書が発行されます。
・当校は特定公益増進法人の認可を受けておりますので、法人の場合は、一般の寄付金とは別枠で免税会計処理ができます。
・個人の場合は、2,000円を超える金額に対して免税されます。
- 【お問合せ先】 横浜訓盲学院 事務部 TEL.045-641-2626